

化粧プレート **4**色同梱



White



Light Almond



Bone



Black



安心の **3**年保証

(納品日基準：日本国内で使用の場合)

**BGMの音量調整** がエリア毎に分割可能

**たくさんのスピーカー** もアンプ1台に接続可能

#### 同梱品

- ・ コントローラー本体
- ・ 化粧プレートセット x 4色分  
(外装プレート、ベースプレート、センタープレート、ボリュームノブ)
- ・ 本体取付用ネジ x 2本
- ・ プレート用ネジ x 2本

#### 推奨ツール

- ・ はさみ金具(上下分離式)  
または 米国標準電気ボックス(18インチ四方サイズ)
- ・ はさみ金具用ネジ ※注記参照
- ・ 標準プラスドライバー(番手: No.2)
- ・ 配線材 SQ 1.25~2.0
- ・ 小型マイナスドライバー【VCS50Kのみ】  
(先端幅 2mm~3mm)

#### ※はさみ金具使用時の注意事項

壁への取り付けは、本機付属のネジではなく、はさみ金具の規格に合ったネジを使用します。ただし化粧プレートの取り付けの邪魔にならないよう、皿頭：直径6.3mm以内をご用意ください。

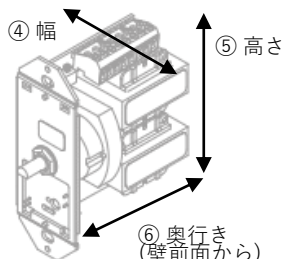


#### 製品寸法

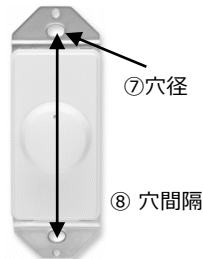
##### プレート



##### 本体



##### 取付穴



製品寸法 (実測値)		VCS50K	VCS100K
プレート	① 幅	74.9 mm	
	② 高さ	119.4 mm	
	③ 凸量	23.7 mm (ノブを含む)	
本体	④ 幅	42.8 mm	39.3 mm
	⑤ 高さ	72.6 mm	74.9 mm
	⑥ 奥行き	65.1 mm	69.1 mm
取付穴	⑦ 穴径	7 mm x 5 mm	
	⑧ 穴間隔	83.3 mm (中心間)	

工事専門業者以外は取り付けを行わないでください。(工事の不備は、火災・感電の原因となります。)

- ・ 最新の内線規程に則り、絶縁板などの堅牢な隔壁や絶縁セパレータをご使用ください。
- ・ 壁内配線を伝わって照明スイッチや他の機器が発するノイズがスピーカーから再生されることがあるため、配線経路にご注意ください。
- ・ 強電配線(照明スイッチや電源コンセントなど)と本機を接続取付けするときは、隔壁が必要です。
- ・ 本機と他のボリュームコントローラーを混ぜて使用することはできません。

# VCS50K/100K クイックスタートガイド

## 配線・接続

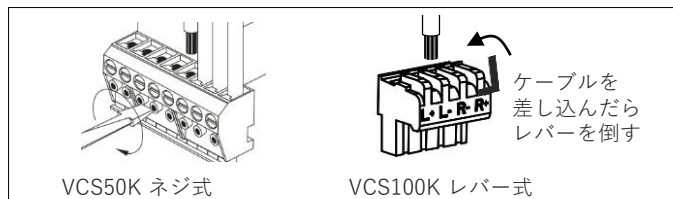
1. あらかじめコントローラーの設置場所までスピーカーコードを配線しておく。(通常はSq1.25、25m以上の配線はSq2.0を推奨)
2. アンプのボリュームを最小にして、アンプの電源をオフする。
3. アンプのスピーカー出力からのコードを、コントローラーの入力端子 (INまたは**AMPLIFIER**と表示) に接続する。
4. 同様に、スピーカーに向かうコードを、コントローラーの出力端子 (OUTまたは**SPEAKER**と表示) に接続する。

## 設定・設置

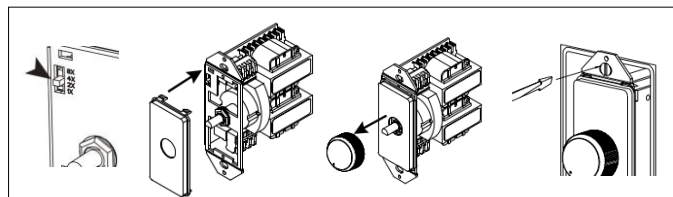
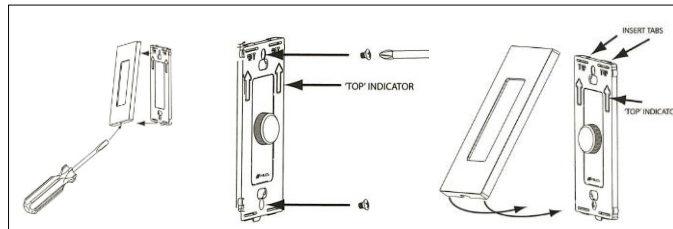
5. インピーダンス切り替えスイッチを設定する。※別項目参照
6. センタープレート、ボリュームノブを取り付ける。
7. はさみ金具などを用い、壁にコントローラー本体を取り付ける。(本紙、おて面の注記※を参照のこと)
8. ベースプレートと外装プレートをマイナスドライバーで分割する。
9. 矢印を上↑に向けベースプレートをネジ止めする。
10. 外装プレートを取り付ける。

## 音量調整

11. VCS xx Kのボリューム位置を最大にする。
12. アンプの電源ONにし、ソース機器から音楽を再生しながらアンプのボリュームを徐々に上げ、快適な音量より少し大きい音量に調整する。(音のクリップやオーバーロードが発生しない位置にする)
13. 前の手順で決めたアンプのボリューム位置をアンプの基準ボリュームとしてマーキングなどしておく。
14. VCS xx Kのボリュームを下げ、快適な音量に調整する。

**図1 コネクターへの接続**


**注意：入力(AMP)と出力(SPEAKER)の極性を逆に接続すると、コントローラーのボリュームを最小にしたときに、アンプ出力の+/-がショート(短絡)し、アンプに深刻なダメージを与えます。再度、手順3と4での接続が確実にされているかご確認ください。**

**図2 手順5~7 設定と壁への設置**

**図3 手順8~10 プレートの分割から化粧プレート装着まで**


## インピーダンス設定の決定手順

- ① **接続する機器、台数など、以下の仕様を確認する。**
  - ・アンプの最低保証インピーダンス
  - ・接続するスピーカーのインピーダンス
  - ・当コントローラー1chあたりに接続したいスピーカーの台数
  - ・アンプ1chあたりに接続したいコントローラーの台数
- ② **コントローラー1chあたりに接続する全スピーカーの合成抵抗を計算する。(並列接続を前提とします。)**

例1) 8Ωスピーカーを4台接続する場合  $1/(4台/8Ω) = 8/4 = 2Ω$

例2) 8Ωを2台、4Ωを4台接続する場合  
 $1/(2台/8Ω + 4台/4Ω) = 1/(5/4) = 4/5 = 0.8Ω$

- ③ **コントローラーのインピーダンス設定値(倍率)を選ぶ。**

### アンプの最低保証インピーダンスが4Ω以下の場合

コントローラーは出力の最低保証が4Ωのため、②で計算した合成抵抗値が4Ω以上になる設定値を選びます。

例1) 合成抵抗が2Ωの場合 2倍以上 (2Ω x 2 = 4Ω)

例2) 合成抵抗が0.8Ωの場合 8倍以上 (0.8Ω x 8 = 6.4Ω)

### アンプの最低保証インピーダンスが4Ωより高い場合

②での計算値がアンプの最低保証インピーダンスの合成抵抗値以上になる設定値を選びます。(アンプは8Ωの場合で説明します)

例1) 合成抵抗が2Ωの場合 4倍以上 (2Ω x 4 = 8Ω)

例2) 合成抵抗が0.8Ωの場合 8倍以上 (0.8Ω x 8 = 6.4Ω = NG!)

この例2では8倍の設定でもアンプの最低保証インピーダンスより小さくなり、ご使用いただけません。使用されるスピーカーの品種や本数を見直してください。

- ④ **アンプ1chあたりに接続するコントローラー全体の合成抵抗を計算し、アンプの安全性を確保する。**

もしアンプ出力1chあたりに複数台のコントローラーを使用する場合は、③で計算したインピーダンス設定後のコントローラーのインピーダンスを、②と同様に計算してください。アンプの最低保証値を下回る場合は、インピーダンスの倍率を大きくするなどの対応が必要です。

計算方法が不安なときは、①の仕様情報を揃えてお問合せください。

## 仕様

主な仕様	VCS50K	VCS100K
許容入力	50W(RMS)/ch	100W(RMS)/ch
チャンネル数	2 ch (Stereo)	
調整ステップ	10段階	12段階
最大減衰量	42dB	54dB
周波数特性	20Hz to 20kHz ± 2dB	
インピーダンス設定	1X, 2X, 4X, 8X	
最小スピーカー負荷	4Ω/ch (上記設定後の負荷)	
回路構成	オートフォーマー式	
接点方式	無開放接点 (POPノイズフリー)	
配線要件	AWG	#16 - #14 (撚り銅線)
	SQ	1.25 - 2.0 [mm <sup>2</sup> ]
	直径φ	1.3 - 1.6 [mm]
コネクター	小型ネジ式	小型レバー式
重量	本体のみ	406 g
寸法	寸法図に記載	
JAN (UPC)	760514016514	760514016521